平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学校名	坂祝町立坂祝小学校
実施期間	平成25年11月27日(水)・28日(木)
	①フリー参観日
実施概要	②全校集会
	学習・取り組みの分野
	□自然 □歴史 ■文化 □産業 □その他
実施内容	公開の方法
	■授業公開 □成果発表会 ■交流活動 □講演会等
t . I I . Je ster	□地域行事等参加 □その他
来校者数	保護者 30人 地域関係者 20人
	2000
実施状況	・2日間を終日フリー参観日とし、保護者はもちろんのこと地域の方々の参観もして
	頂いた。
	・10月10日(木)ロング昼休み…執行委員の児童に、ひびきあい担当よりひびきあい月間の新りしてひびきない日間の特別は党体会校活動について利恵。実行していることを話す
	の話としてひびきあい月間の坂祝小学校全校活動について計画・実行してくれるよう話す。 「そのために、私達は坂祝小学校のみんなにどんなはたらきかけができるか」と執行委員が
	考える。
	・11月6日(水)全校朝会にて、ひびきあい担当と執行委員会から話をする。
	A 執行委員児童中心・坂小全校活動 あいさつに関する取組
	挨拶に関する活動を全校共通のもので実施する。
	掲示物として全校で積み上げていくようなものがよい。
	B 歌「ともだちになるために」を11月の歌として歌う。
	歌詞の内容が下記のような内容であり、今回のねらいである「腹がたってもやりかえしをしない」ということにつながっているため、11日6日のしくかし朝今で歌しるの歌詞を
	しない」ということにつながっているため。11月6日のしらかし朝会で歌とその歌詞を 紹介する。6日以降、各クラスで歌う。(CDと楽譜はひびきあい担当より配布)
	C 「友達とのあたたかい関係作り」について書かれている詩に子ども達が触れる機会を設け
	る。
	・司書教諭にお願いをして、昼の放送で「友達とのかかわり」について書かれている詩を
	朗読してもらう。(一週間に一回。宇野先生、渡辺先生に2回ずつ。合計4回)
	D11月27日(水)なかよしタイム~3校時 ひびきあい集会<司会:ひびきあい担当>
	<3> ひびきあい集会後
	E 翌28日(木)昼の放送で、ひびきあい担当より、ひびきあい集会・月間の振り返り
	F ソーシャルスキルの授業(生徒指導より提案の資料参照)を、学活内で実施し、全ての学年が「友達との関わりで腹が立ったとき、どのように対処したらよいか」について学習す
	十が「灰崖との関わりで腹が立うたとさ、とのように対処したのよいが」について子自り る。
	G 各学年のDVDの感想や、ひびきあい月間に行った活動全体について「ひびきあい通信」
	としてまとめる。<12月2日(月)配布>
	各家庭、ひびきあい集会に参加して下さった地域の方への報告も兼ねる。
	〈成果〉
成果及び	・子ども達の活動する姿が生き生きとしており、日常の教育活動では見られない子どもの
課題	様子をうかがい知ることができた。
HA/CE	・異年齢集団の活動を仕組むことにより、高学年が低学年を支えながら活動する姿が見られた。
	・講師の方々と近い距離で交流することで、心の交流を図ることができた。
	・ねらいを焦点化することで、活動に意味をもたせることができた。
•	